

1 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策

(1) 人命・財産の被害を防止・最小化するための対策

(2) 交通ネットワーク・ライフラインを維持し、国民経済・生活を支えるための対策

2 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策

3 (1) 国土強靱化に関する施策のデジタル化

(2) 災害関連情報の予測、収集・集積

公立社会体育施設を耐震化し、利用者の安全を確保する (長野県安曇野市)

事業者：長野県安曇野市

体育館の外観



屋根のブレース補強

<対策前>



<対策後>



耐震補強工事

対策名：15 公立社会体育施設の耐震化対策



主たる施策グループ：1-1) 大規模地震に伴う、住宅・建物・不特定多数が集まる施設等の複合的・大規模倒壊による多数の死傷者の発生 教育・文化等

事業名：堀金総合体育館耐震化事業

- ポイント**
- 糸魚川ー静岡構造線断層帯の地震発生を想定し、堀金総合体育館を耐震補強
 - 災害時に利用者の安全を確保し、避難施設としても活用

地域の概要・課題

安曇野市では、糸魚川ー静岡構造線断層帯の地震が最大規模の被害をもたらすと想定されているなか、指定避難所となっている体育館の天井部分の耐震性能が基準を下回っていました。

堀金総合体育館は、平時は市民の健康増進、体力向上のためのスポーツ施設として、災害時は指定避難所として利用される施設であり、利用者の安全を確保するためにも施設の耐震対策が必要でした。

見込まれる効果

体育館の耐震補強や非構造部材の落下防止工事を実施することにより、災害時における施設被害を防止し、利用者の安全を確保しました。

これにより、堀金総合体育館の避難施設や物資の輸送拠点としての機能強化が図られました。

事業の概要

堀金総合体育館において、耐震補強や屋根の落下防止工事を実施しました。



避難所開設についての説明会の様子